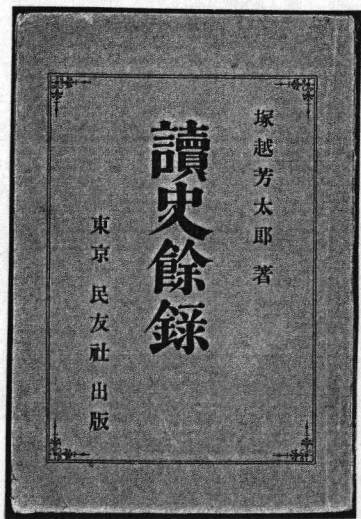


塚越信春 しんはる 史論家、詩人。文久四年二月二日上野國生れ、昭和  
 二十二年七月一日歿（二六四—一九四七）。本名芳太郎。筆名信春主  
 人、信春樓主人、塚越山東、塚越芳、山東、山東逸民、春風道人、雲  
 野通路等。教員の傍ら自由民権運動、廢娼運動に關與。明治二十二年  
 上京して民友社に入り、同社の史論家として山路愛山と肩を並べる存  
 在となる。三十二年新聞「人民」主宰、三十九年東京市史編纂主任。  
 著書「近松門左衛門」（本名、明治二十七年十一月四日民友社「十」  
 文叢」）、「近松著作一斑・上巻」（同、明治二十八年九月二十日民  
 友社）、「熊澤蕃山」（同、明治二十一年二月二十日民友社）、「旅行  
 日記」（同、編、明治二十四年六月二十五日民友社）、「地理と人事」  
 （同、明治二十四年九月二十一日民友社「教育叢書」）、「牛鏡詞藻」  
 （同、合著・進藤信義編、明治二十四年十月十一日大阪鐘美堂書店・鐘  
 美堂書店）、「讀史餘錄」（同、明治二十四年十一月十八日民友社）  
 「時務的教育」（同、明治二十四年十一月十一日民友社「教育叢書」）  
 「成功論」（同、明治二十五年二月一日民友社）、「柿本人麿及其時  
 代」（同、明治二十五年九月六日民友社「十」文叢」號外）、「瀧澤  
 馬琴」（同、明治二十六年一月十一日民友社「十」文叢」）、「少年  
 史談會・花之巻」（明治二十六年四月二十九日育英舎）、「瀬戸内海」  
 （塚越山東名、明治二十九年七月一  
 十八日有樂社）、「徳川家康（上巻）」  
 （明治四十一年十一月二十六日版部  
 書店）、「古今の婦人」（合著・編  
 島田郎翁、大正元年九月十六日婦女



新開社)、  
『趣味研究大江戸』(合著・江戸研究会編、大正二年十月、二千四百大澤書房)、  
『可堂先生事蹟』(大正二年十月、二千八百小林武之助編刊)等。

